




研究者名※	杉山直子 SUGIYAMA Naoko	学位※	Ph.D(アメリカ文学) M.A.(アメリカ文学) 修士号(アメリカ研究)
所属※	人間社会学部 文化学科	職名※	教授
連絡先	nsugiyama@fc.jwu.ac.jp		
URL			
researchmap※	https://researchmap.jp/read0047117		
研究分野※	地域研究、ジェンダー、英米、英語圏文学		
研究キーワード※	北アメリカ、女性学、米文学、近・現代文学、文学批評		
共同研究・競争的資金等の研究課題	「アメリカ人」アイデンティティにおける人種概念の中の「血」と「場」表象の研究 科研費 基盤(C)研究代表者 (2015年 - 2017年) 「アメリカ文学における人種とジェンダー越境表象の研究 科研費基盤(C)研究代表者 (2008年-2011年) アメリカ合衆国の女性文学における「女神信仰」の表象 科研費 基盤(C)研究代表者 (2002年 - 2003年)		
社会貢献・産学官連携活動等			
受賞歴	アメリカ研究振興会 『アメリカ・マイノリティ女性文学と母性』出版助成 (2007年)		

研究領域	地域研究、ジェンダー、英米文学	(SDGs)	
研究テーマ※	アメリカ文学における人種とジェンダーの表象についての研究		
概要※ (概ね1000字以内) (写真・グラフ等自由)	<p>【研究の背景・目的・内容】 「アメリカ人とは何か？」は植民地時代から今日に至るまでの、自らを「アメリカ人」と自覚する人々にとっての重要な問いであり、したがってアメリカ合衆国の文学を研究する者にとっても、大きな問いである。その中で特に「移住によるアイデンティティの獲得」という事象に着目し、北米以外の地域から移住してきた人々が、自らを「アメリカ人」として認識するに至るプロセスの表象を、人種・ジェンダー表象に着目しつつ分析する。その際、白人・非白人だけでなく、先住民の存在が重要となる。「火星への移住」ナラティブとして、比喩的に「移住によるアイデンティティの獲得」として表現するSF的な作品も重要である。植民地の言説から19、20世紀の移民と先住民との関係、さらには21世紀にまたがる地球外への移住を含む新しい移住とフロンティアの物語の中に、「アメリカ人」アイデンティティがどのように表象されているかという問題意識が、現在の研究の中心である。</p> <p>【応用例、研究の展望】 専門分野に関して問い合わせ可能・相談に乗れること *米国、特に20世紀以降の黒人、アジア系、先住民などのマイノリティ文学、女性による文学についての概論、および具体的な個々の作品についての背景や知識、学ぶための資料など *人種およびジェンダーに関する批評理論とその歴史、背景についての知識や資料など</p> <p>【研究方法の特色】 米国のマイノリティ女性についての資料、人種に関する資料を幅広く収集し、分析している</p>		
本研究関連特許・論文等	・杉山直子『アメリカ・マイノリティ女性文学と母性——キングストン、モリスン、シルコウ』彩流社、2007年6月		
共同研究・外部機関との連携への期待			